

2008年11月発行  
 (平成20年11月)  
 千葉県立匝瑳高等学校  
 同窓会事務局  
 〒289 2144 千葉県  
 匝瑳市八日市場イ 1630  
 TEL .0479 72 1541  
 FAX .0479 73 6146  
 代表：加瀬武彦

## 平成20年度 定例総会終わる

新会長に 加瀬武彦さん(高16)  
 次期会長は 川口明和さん(高17)

平成20年度定例総会は、六月二十二日(日)に母校西城館にて午前十時より開催。古谷会長、宇井校長の挨拶に続き前年度決算、本年度予算案が承認され、新会長に加瀬武彦さん(高16)が選出された。

また、次期会長候補としての副会長には、川口明和さん(高17)を選出し、他の役員も全員承認された。なお、総会席上で、前県会議員の飯島重雄さん(中22)、「同窓さふさ」第二代編集

長大関正さん(高1)に感謝状と記念品(長老杖)が贈呈された。

総会終了後、伊東健爾さん(高16)によるクラシックギターミニコンサートが実施された。「禁じられた遊び」「アルハンブラの想い出」「アストウーリアス」「モーツァルトの魔笛の主題による変奏曲」等、すばらしい演奏に、出席者一同、聴き入っていた。その後、梅田屋に会場を移し、懇親会が行われた。

### 全国定通陸上競技大会

### 家鍋君 三連覇&最優秀選手

家鍋 健太(定・三年)

八月十六日に国立競技場にて開催された全国大会に出場し、三連覇の達成と共に、男子最優秀選手賞までいただくことができました。

- 1 91cmを跳び優勝を決めた後、
- 2 00cmをクリアし、自己記録となる205cmに挑みました。残念ながら、失敗に終わりましたが、跳ぶ手こたえを得ました。

大会には弟の貴也(定・一

年)も参加し、180cmで4位という成績でした。来年は、

四連覇の達成。大会記録更新。弟と表彰台へ。

この三つを目標にしてがんばりたいと思います。

最後にご支援いただき、ありがとうございました。



賞状を手に 家鍋健太君(左)  
家鍋貴也君(右)



総会で演奏する 伊東健爾さん(高16)

# いあいせい

会長

加瀬武彦(高16)



会員の皆様には、ご壮健にてご活躍の事と存じます。

過日の総会におきまして、ご承認いただき就任させていただきました。微力ではありますが精一杯努力するつもりです。で、宜しくご支援、ご協力の程お願いいたします。

一人になりますと、故郷(母校)とは、と考えてしまうことがあります。私たちが16回生は、去る五月十一日に8クラス合同の同期会を開催いたしました。101名の大勢の友人が集まりました。遠方から、宿泊しながらの参加者もありました。40数年振りの友人も多数いましたが、物故者に対してのご冥福を祈り、恩師のご挨拶をいただき開演いたしました。宴が進むうちに40数年の空

白も払拭され、当時の仲間に戻り、母校の校歌を歌いながら和気あいあいに終了しました。二次会も全員と言っても過言ではなく参加し、当時、流行した歌をカラオケで全員で合唱したり、のど自慢をしたりしながら、盛り上がり次回の開催を約束して解散しました。これが、故郷(母校)のかなと思えました。私は、母校匝瑳高校を故郷だと感じながら40数年前を思い出して、昨年一年間副会長という要職をいただき同窓会の活動に参加して参りました。

学校の校長先生を始め、先生方との会話で感じますことは、後輩たちの前向きで真面目な姿です。次代を背負う後輩たちに私ども同窓会は、何ができるかということも考えています。「匝瑳高校に進んでよかった。匝瑳高校へ進んで勉強・運動をして自分の夢を叶えたい。」と言われる母校を目指し学校側と話し合い、協力できたらいいなとも考えています。

今年度は、同窓会の主目的として会員相互の親睦を図り母校の発展に期するため、昨年同様に学校支援に力を入れていきたいと思えます。20年度総会で次のことが決定いたしました。ホームページの活用と「さふさ」の発行

学校支援(補助費を含む) 会費の納入と会員相互の連携 会報「さふさ」の送付(会費納入者、年一回・未納者、年一回)

会報につきましては、平成2年度の総会で会報の発行が決定され、年二回会員の皆様に送付されてまいりました。平成19年度の役員会で、会費の納入状況・執行状況等について話し合われました。会費の集まりが、芳しくなくこのような決定に至りました。

この決定に不満もあると思われま。今回の会報は、全員に送付させていただきます。来年五月頃発行される会報は、未納の方には送付されません。ご理解いただきたくお願いいたします。

会報は、同窓会のホームページに掲載していきますので、多くの会員の皆様にアクセスしていただき読んでくださるよう重ねてお願いいたします。

誠に恐縮ですが、同窓会の発展のため、会費の納入並びにホームページのバナー広告をお願いいたします。

終わりに、皆様方のご健勝と、同窓会の益々の発展をご祈念申し上げます。

## 平成20年度 役員一覽

|                              |            |             |                  |              |               |            |             |              |             |            |            |            |              |               |             |               |               |              |              |               |              |                |               |               |                 |                 |            |
|------------------------------|------------|-------------|------------------|--------------|---------------|------------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|------------|--------------|---------------|-------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|----------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|------------|
| 参<br>与                       | 顧問         | 会<br>計      | 会<br>報<br>担<br>当 | 監<br>事       | 総務部長          | 文化部長       | 体育部長        | 事務局長         | 副<br>会<br>長 | 会<br>長     |            |            |              |               |             |               |               |              |              |               |              |                |               |               |                 |                 |            |
| 古谷 健一(高15・前会長)<br>(従来の方々に加え) | 斎田 完(事務主幹) | 石原 修(定時制教頭) | 猿渡 末治(高26・全日制教頭) | 中村 道代(全日制教頭) | 宇井 美樹(高19・校長) | 馬淵 英夫(高10) | 加瀬 茂(高27校内) | 岩瀬 道治(高24校内) | 青柳 勝夫(高16)  | 米本 雅男(高10) | 鈴木 勝彦(高18) | 渡邊 順一(高21) | 石毛 忠(高9・四街道) | 斎藤 忠雄(高15・海上) | 伊藤 雅美(高6・光) | 清水 幸男(高14・飯岡) | 伊東 和夫(高12・野栄) | 越川 要(高17・干潟) | 伊藤 清(高10・東京) | 土岐 四郎(高11・京葉) | 澤田 晃(高15・多古) | 石井 國夫(高14・横匠会) | 江畑 鎮男(高6・銚匠会) | 菅谷 稔(高10・旭匠会) | 多部田惣八郎(高16・匝瑳会) | 川口 明和(高17・次期会長) | 加瀬 武彦(高16) |

支部推薦の副会長は、支部で変更された時点で変更になります。印新任、他は留任。

平成20年度 一般会計予算書

自 平成20年4月 1日  
至 平成21年3月31日

1. 収入の部

| 科目  | 予算額        | 前年度予算      | 増減        | 備考       |
|-----|------------|------------|-----------|----------|
| 会費  | 5,000,000  | 6,000,000  | 1,000,000 |          |
| 入会金 | 1,035,000  | 1,002,000  | 33,000    | 全320+定25 |
| 繰越金 | 4,241,274  | 6,831,854  | 2,590,580 |          |
| 寄付金 | 500,000    | 200,000    | 300,000   |          |
| 雑収入 | 10,000     | 100,000    | 90,000    | 銀行利子その他  |
| 計   | 10,786,274 | 14,133,854 | 3,347,580 |          |

2. 支出の部

| 科目    | 予算額        | 前年度予算      | 増減        | 備考                     |
|-------|------------|------------|-----------|------------------------|
| 会議費   | 750,000    | 750,000    | 0         | 総務文化幹事会支部              |
| 事務費   | 650,000    | 650,000    | 0         | 事務通信費印刷費               |
| 旅費    | 70,000     | 70,000     | 0         | 会務旅費                   |
| 慶弔費   | 300,000    | 300,000    | 0         | 役員母校職員等                |
| 振込手数料 | 70,000     | 70,000     | 0         | 会費振込手数料                |
| 会報発行費 | 6,000,000  | 6,500,000  | 500,000   | 印刷費, 発送費<br>編集会議       |
| 補助費   | 1,200,000  | 1,200,000  | 0         | 部活動補助 文化祭補助<br>教育活動の補助 |
| 学校支援費 | 1,000,000  | 0          | 1,000,000 | 母校教育活動への支援             |
| HP管理費 | 350,000    | 650,000    | 300,000   | ホームページの管理              |
| 積立金   | 0          | 3,500,000  | 3,500,000 |                        |
| 予備費   | 396,274    | 443,854    | 47,580    |                        |
| 計     | 10,786,274 | 14,133,854 | 3,347,580 |                        |

平成19年度 一般会計決算書

自 平成19年4月 1日  
至 平成20年3月31日

1. 収入の部

| 科目  | 予算額        | 決算額        | 増減      | 備考        |
|-----|------------|------------|---------|-----------|
| 会費  | 6,000,000  | 5,010,000  | 990,000 |           |
| 入会金 | 1,002,000  | 1,002,000  | 0       | 全319+定15  |
| 繰越金 | 6,831,854  | 6,831,854  | 0       |           |
| 寄付金 | 200,000    | 453,000    | 253,000 |           |
| 雑収入 | 100,000    | 476,370    | 376,370 | 銀行利子 名簿売上 |
| 計   | 14,133,854 | 13,773,224 | 360,630 |           |

2. 支出の部

| 科目    | 予算額        | 決算額       | 増減        | 備考                     |
|-------|------------|-----------|-----------|------------------------|
| 会議費   | 750,000    | 527,945   | 222,055   | 総務文化幹事会支部              |
| 事務費   | 650,000    | 432,672   | 213,328   | 事務通信費印刷費               |
| 旅費    | 70,000     | 24,000    | 46,000    | 会務旅費                   |
| 慶弔費   | 300,000    | 139,815   | 160,185   | 役員母校職員等                |
| 振込手数料 | 70,000     | 53,120    | 16,880    | 会費振込手数料                |
| 会報発行費 | 6,500,000  | 6,490,571 | 9,429     | 印刷費, 発送費<br>編集会議       |
| 補助費   | 1,200,000  | 1,195,987 | 4,013     | 部活動補助 文化祭補助<br>教育活動の補助 |
| HP管理費 | 650,000    | 630,540   | 19,160    | ホームページの管理              |
| 積立金   | 3,500,000  | 0         | 3,500,000 |                        |
| 予備費   | 443,854    | 37,000    | 406,854   | 新潟中越沖地震復興<br>義援金       |
| 計     | 14,133,854 | 9,531,950 | 4,601,904 |                        |

3. 収入 - 支出対照表

| 収入額        | 支出額         | 差引残高      | 振替口座   | 231,579    |
|------------|-------------|-----------|--------|------------|
| 13,773,224 | 9,531,950   | 4,241,274 | 郵便口座   | 4,007,978  |
|            |             |           | 手元現金   | 1,717      |
|            |             |           | 次年度へ繰越 | 4,241,274  |
| 前年度総資産     | 39,331,854  |           | 積立金    | 32,500,000 |
|            |             |           | 総資産    | 36,741,274 |
| 総資産の増減     | - 2,590,580 |           |        |            |

同窓会会員名簿  
平成21年1月発行

同窓会会員名簿21年版が来年1月、発行の運びとなりました。個人情報取り扱いが日々難しくなっている昨今、会員の皆様には、様々な調査や、予約申し込み、広告掲載料等、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

なお、「同窓さふさ」37号でもご注意を呼びかけましたが、本会員名簿の編集・出版は(株) サラトでございます。これ以外の出版は匠瑛高校同窓会には一切関わりがございませんのでご注意下さい。

ご不明ご不審の点がございましたら、事務局までご連絡下さい。



# 支部総会報告

## 【匠東会(東京支部)】

四月十二日(土曜日)東京市谷の私学会館アルカディアで第十回匠磋中・高校東京支部同窓会総会(会長伊藤清10回卒)が開かれた。

四谷から市谷・飯田橋にかけての土手の桜が散って最初の土曜日、水溜りのあちこちに花びらが残って、五月の陽光を想わせるような温かい日和に恵まれた日、匠中14回(昭和17年)卒の木川統一郎先輩から高校41回(平成元年)卒の遠藤正和さんまでの幅広い同窓百20余名と、元・前校長をはじめ現校長の代理で参じていただいた中村教頭ほか同窓会長のご来賓という堅い構えの支部総会となった。

総会案件がスムーズに承認され、続いて第2部は「何で真犯人が後で出るのでしょうか」というテーマで、国際弁護士として活躍中の木川統一郎先輩から約一時間にわたって被疑者の取調べ上の制度の違いなどの興味津々のお話、

後輩の私たちが欧米に行く際に頭の隅に忘れないで残しておくべきと承りました。

もちろん主催側の狙いは硬軟両様の構え、くだけで第3部は懇親会になって大いに盛り上がったのは当然であった。東京支部すなわち匠東会が、10年目の節目になることから、その誕生の経緯などを飯島英胤先輩(高6回)から伺って、県下のどこにも類を見ないこの盛会を目的の当たりにして敬意を新たにしたい次第



挨拶する古谷会長(中央) 伊東匠東会会長(左) 岩瀬事務局長(右)

でした。

宴がすすむと、そこは同窓会の真骨頂、先輩後輩が打ち解けて親しみ合う図はいい風景、健康で元気だからこそ得られる「成果」を楽しめたのはご同慶の至り。

大にぎわいのお楽しみ抽選会があつて、「ここ東海」の斉唱と一本締めを合図に去りがたきを「じゃ元気でね」来年また」となったのであります。

ところで10回卒の大方は今年、古希を迎える。この年恰好になると同窓会の類が頻発になる。が、高校のそれは他とは趣が少し違うように思われる。懐かしい思い出を引きずっているんだけど、それだけとはちよつと違う。何か未解決にしてきたものが、あの時、高校生の頃に残してきているんじゃないか、それを引きずっての一味違ったクラス会、同窓会の味になつていのように思われる。

平山 豪(高10)

### 東京支部+京葉支部合同イベント

#### 「銚子を歩こう会」

#### 顛末の記

平成十九年十一月十一日、「銚子を歩こう会」という健

康意識のイベントが匠磋中・高校東京支部同窓会、匠東会と京葉支部のジョイントで開催された。

#### 夜来の雨がやんで

当日の朝、夜来の雨が深く浅く呼吸をするかのように、忙しい雲行きをともなつて降っていたが、秋の終わりにしては生暖かい風で天気が変わる予兆を思わせていた。

東京支部から伊藤清会長以下46名と、京葉支部は千葉からバスを仕立てて土岐四郎会長以下52名が稲毛在住の安田先生のお出ましを願つて、地元、八日市場から山崎前校長をはじめ同窓生が集まつた。

だけれが「利休鼠の雨といふのは雨の色ですか」と言つた。犬吠崎、君ヶ浜から傘をさして歩き始めた。引く波、寄せる波の力でさざれ石たちがこすれて出すザワ、ザワというゆつたり音は海から誕生した生きとし生けるものたちの揺りかこの音なのかもしれない。

海を背にして太平洋を一望する高台方向に歩き始めたとき、西方向の雲が裂けて一筋の光が射した。一閃の光芒というのだろうか。雨がやんで

日が射して、セーター、合羽を腰に巻きつけ、雨傘で調子をとりながら、いまや銚子の一大ブランドになった「灯台印のキャベツ」畑の小道を歩いた。

#### 楽しく歩けば脳が若返る

脳科学者で京大教授の大島清先生の著者「歩く人はなぜ脳年齢が若いか」に触発され、楽しく歩けば脳が若返るとまでダメ押しされて、私は銚子まで歩きに行く理由付けにしたのでした。

黙々とは歩かなかつた。かなり騒がしくしゃべりながら歩いたんじゃないか。犬に吠えられもした。昔、受験生の頃の過去問に笠信太郎「もの見方について」からお題がでた、イギリス人は歩きながら考えるがドイツ人は歩く前に考える。というようなくだりを歩きながら思い出しもした。

#### 日本古来の歩き方

明治期、西洋式の軍隊教育が始まるまでの日本人の歩き方は、腕と脚の關係が右・左(左・右)ではなくて右・右、左・左の手足の動きであった。いまにして剣道の所作、左脇差から刀を抜く時代劇のたち



まわり動作もまた古来の歩き方の方に合点が行く。畑で鎌をふるうときも右手と右足が前に出る。

そんな歩き方をキャベツ畑の道でやってみた。腰や股関節に大きな負担をかけない、腰がねじれずに歩けるので身体にいいと言われている。

**頼りない医学の話**

道中の水分摂取は必須である、ペットボトルが各人に配られた。思えば、水を飲んではダメと、教わったのはそ

う古い話ではなかった。高校10回卒の私たちも、体育の時間に教わったように思う。もう一つ付け加えれば、脳卒中で倒れるとその場に、現状を保ったまま安静に臥せておかれた。佐藤栄作がそうであった。いまはすぐに移送、時を移さずリハビリである。医学の進歩も頼りないところを露呈した一面であったわけである、医学・生理学賞(ノーベル賞)は新発見から相当の年数が経ってその説が定まるまで選定の対象にしないと聞いたことがある。

**砂っ払い**

東京支部同窓会、京葉支部もまた度量が大きいというかウォーキングの後はホテルで一風呂浴びて、「砂っ払い」したのは言うまでもない。

ちなみに広辞苑で「砂っ払い」を引いてみると、千葉県で用いられる言葉と但し書きがある。そもそも男がよくする言葉で、昔から八日市場辺りで頻度高く乱用されているのではないかと私は思っている。

**新しいランドマーク**

銚子のランドマークは犬吠埼灯台である。行くまでこれを信じて疑わなかったが、これが大違いで

あった。東京から千葉へ、総武線が江戸川にさしかかると左手前方の高台に和洋女子大の高層ビルが見える。その国府台から始まる台地が北総台地で、延々と続いて東の果ての屏風ヶ浦で高さ約五十メートルの断崖で海に没するところをもって、下総台地は終わる。

この断崖の上で三十基の風力発電機、高さ七十メートル、直径七十メートルの風車が回る壮観に驚くのである。いまや銀色に輝く羽根がランドマークなのである。

屏風ヶ浦、そこは風力発電に格好の条件が揃う場所、風の通り道だから、風を捉えて渡る鳥たちもまた同じである。見た目はゆっくりまわるけれども羽根の先端は優に時速百キロメートルを超える。直径が七十メートル程の高速回転の壁が三十基も連なれば渡り鳥たちにはたまったものではない。死屍累々、渡り鳥が衝突して犠牲になることもまた事実なのである。日本を経由する渡り鳥は年間二百万羽以上と言われている。

歩く楽しさは、歩いてみるとわからない。これが私の

「銚子を歩こう会」の収穫であった。

それにしても、少年のころ嗅いだ潮の匂い、海辺に特有の匂いが無い。足元をすばやく逃げるはずのフナムシもいなかった。わが感性が衰えたのだろうか。

平山 豪(高10)

**【京葉支部】**

京葉支部総会は、五月十七日(土)中・高校同窓生97名が相集い、京成ホテルミラマールで開催された。

土岐会長の挨拶で幕を開け特別会員の鶴岡千葉市長、古谷同窓会長、母校の宇井校長の挨拶の後、足田議長の進行により、十九年度事業報告、会計報告、ゴルフ大会や旅行会等二十年度事業計画について全員異議なく承認された。

続いて新役員に土岐四郎会長(高11)、玉澤宏幹事長(高15)をはじめ事務局、会計等新役員が満場一致で選任された。

懇親会は、堀江はつ、宇野裕尚県会議員、布施貴良千葉市会議会員の挨拶の後、母校の恩師安田侑先生の「蓄音機に聴く歌謡史 古きよき時代

を偲ぶ」と題した講演と、なつかしい蓄音機の音色に皆若きころに思いを馳せていた。宴はみな高校生時代に返り当時の話に大いに盛り上がり予定時間を一時間もオーバーするほどの盛況であった。

最後に、音楽部で大活躍した富澤汎子さん、澤田寿子さん(高11)の音頭で校歌を斉唱し盛会裡に閉幕となった。 布施 晃(高15)

**【四街道支部】**

七月十二日(土)午前十時から四街道市文化センターにおいて、四街道支部同窓会第10回が開催された。

母校から宇井美樹校長、本部から加瀬武彦会長(高16)が出席され、支部会員23名参加のもとに母校及び同窓会の近況について報告があった。

総会に先立ち、恒例の講演会が開催された。講師は、サプリメント各種の医薬品特許をもつ食品メーカー「日健総本社」の代理店株式会社、崎京クロスアタニン販売代表取締役桑田剛寛氏で、次のような講演をされた。

120歳までハッピーに生きるためには、水を1日2リット

ル飲み、適度な運動(神経、ホルモンのバランス、骨、筋肉、血管の維持)をし、栄養バランスを保ち、睡眠(6〜7・5時間)を確保し、友達を作つて、「会話」と「感動」と「笑い」で元気に過ごすことが不可欠の要件であり、老化を防ぐ決定打は「長生きするぞと決意すること」であるという内容のものでした。

総会では、支部の活動報告ならびに新年度事業計画の報告等が承認され、会長には引き続き石毛忠氏(高9)が承認された。

続いて懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で話も進み、石田寛氏(高2)が「喜寿を賀す」と題し、喜寿と呼ばれる刀歳に達し、人生の幸せを噛み締め、さらに善行を積み百歳の長寿を保たれるようにと祈った詩が朗詠された。最後に匠中・高の校歌を全員で合唱し、会を終了した。

工藤 博孝(高11)

【横芝支部】

六月一日(日)午前十一時より「富士屋」にて開催。支部長石井國夫氏(高14)。高2回生から高40回生まで

の幅広い年代が集う「横匠会」。横匠会の魅力は、何と

いつても、気軽に参加できる人づくりです。参加者24名中、20回代4名、30回代8名、40回代1名と13名が現役世代。来賓の猿渡教頭先生も横芝出身の26回生。想い出に浸るのと二時間。

終宴のハイライトは、毎年恒例の旧校歌と校歌の合唱です。先輩・後輩の心ひとつに、各位の思い出がいっぱい詰まつた校歌斉唱は万感の想いとなり、明日への元気づけになります。

【飯岡支部】

五月二十五日(日)午後四時より玉の浦食堂にて、母校中村教頭、岩瀬事務局長出席のもと開催された。支部長には清水幸男氏が再任された。例年通り、母校蔦蔦祭のバザーへの協力が議決された。

【多古支部】

七月二十一日(日)午後六時、釜屋本店で開催。本部から加瀬会長、母校より猿渡教頭が出席された。前年度の報告の後、前年度に引き続き澤田晃氏(高15)が会長に選出

された。

【旭支部】

八月二十三日(土)旭匠会総会が旭楼を会場にして、来賓に伊藤忠良旭市長、本部より加瀬会長、母校より猿渡教頭、岩瀬事務局長を迎え開催された。総会終了後、伊藤市長より市政報告があつた。

【千潟支部】

八月二十三日(土)嘉儀屋で開催された。参加者約20名のもと、和やかに議事は進行。事務局より学校の近況報告があり、新支部長には越川要氏(高17)が選出された。

【野栄支部】

八月二十四日(日)のさか望洋荘で開催。本部より加瀬会長、宇井校長が出席された。伊東和夫(高12)支部長のもと、更なる発展を期し、盛会裡に終了した。

【海上支部】

八月二十六日(木)割烹なみ川で加瀬会長、母校より中村教頭の出席のもと、開催され、支部長には引き続き齊藤忠雄氏(高15)が再任された。

同期の集い

中16・充緑会

今年で第46回となる集いを、五月十一日多古町「あぶらや」で開催。場所や悪天候のせいか欠席が多く、参加者は15名。

総会返信文集(37名、10ページ)で、K君は「充緑会の出席は大きな楽しみ、成長期の五年間の友達との会合は、全く心おきなく楽しめる」と

述べているように、いつまでも続けたいと参加者は思っている。

しかし、後期高齢者であり、健康に不安を感じ、足腰の不自由さもあり、出席者は減少する。そこで、鳥飼会長の事務量に配慮し、不在会員の気持ちを思いやりながら、今後の集いの開き方など話し合つた。

結局、会場は持ち回りをやめ、八日市場で。運営委員を6名選び、年末に会合して来年以降の運営の具体案を作成することにした。当日の不参加者はご意見を連絡下さい。来年以降の集いは、高齢者が参加しやすいよう工夫を。

なお、今回は記念品として「多古町名所百選」(多古教委、カラー、16ページ)の美しい冊子が配られた。

平山 慎一(中16)

匠瑳21・1同期会

平成二十年五月二十五日、日曜日の午後三時半、旭市の「旭楼旅館」を会場に、16回目同期会が開催された。出



席者は三十一名、過去最少の記録更新である。

この一年間に、林利さん、伊藤嗣男さん、江波戸静夫さんの三人が鬼籍に入られた。加えて最後の担任だった佐藤重次先生も昨年七月に亡くなられた。謹んでご冥福を祈り黙祷を捧げる。

出席者は昨年より一人減だが、顔ぶれの三分の一は入れ替わっていた。昨年来て今年欠席が十人、その逆が九人だった。長期リハビリを克服して十年ぶりの参加や、四年目でやっと車の運転が出来る様になったからと参加してくれた人もあった。また、当日朝になって身内に緊急事態発生で欠席になったり、逆に欠席の返事だったが昼頃急遽出席してくれると連絡があったりで、人生いろいろ...

欠席理由は、闘病中と元気に飛び回っている者にと二分される。前者は一日も早い快復で、後者は日程調整で、共に一人でも多く参加してくれる事を期待する。

身辺雑話、情報交換、仲間との消息...、二時間はあっという間に過ぎて、午後六時次の再会を約して解散する。



今回は、匝瑳地区が当番で平成二十一年五月二十四日(第四日曜日)に開催する予定なので、体調と行事を調整して是非参加して欲しい。なお、平成二十年春の叙勲で内山勉さんと鈴木八郎さんが「瑞宝双光章」受章の栄に浴された。内山さんは教育、鈴木さんは民生・児童委員として永年にわたる活動の賜物である。慶祝！

今回は、来年は大部分の仲間が数え年八十歳、傘寿を迎えることになる。飢えと絶望の中を生き抜いて六十五年、生きていく喜びをより多くの仲間と語り合いたいと思う。重ねて次回の参加を切にお願いする。

大関 正(高1)

平成二十年度

匝中21回・匝高1回卒業生

同期会 記念写真名簿

二〇〇八年五月二十五日(日)

旭市「旭楼旅館」

前列 右から

- |        |        |
|--------|--------|
| 萩原 恒夫  | 林 桂    |
| 山本 秀夫  | 宇井 恵治  |
| 大木 栄一  | 神原 健   |
| 林 秀夫   | 古川 恒蔵  |
| 大関 正   |        |
| 二列目右から |        |
| 加瀬 康夫  | 向後 忠   |
| 渡辺 翼一  | 福岡 正夫  |
| 宇井野和重  | 萩原 勇美  |
| 片岡 工   | 石橋 清   |
| 椎名 素夫  | 宮嶋 弘平  |
| 林 義夫   |        |
| 三列目右から |        |
| 岩井 透   | 大和 義則  |
| 土屋 壽   | 並木 達雄  |
| 高梨 育雄  | 鈴木幸之助  |
| 角田 利夫  | 野沢 薫   |
| 杉田 利夫  | 飯島 崇智  |
| 高岡 敏雄  | (計31名) |

### 喜寿を祝う

#### 中22・高2同期会

(匝陵一九会)



前列 右から

- |       |       |
|-------|-------|
| 山下 敏  | 押尾 鼎  |
| 松山 敏  | 高山 節雄 |
| 嶋 弘一  | 大川 馨  |
| 加瀬 健三 | 加瀬 浩久 |
| 秋山 栄  | 平山 幸男 |
| 最上 峻  | 江畑 魁  |

中列右から

- |       |       |
|-------|-------|
| 岩井 幸治 | 高上弥之助 |
| 宇井 聡  | 石田 實  |
| 鈴木 琢雄 | 土屋 正  |
| 磯部 郁夫 | 青木 達郎 |
| 加瀬 万司 | 大関 正己 |
| 菅野 秀夫 | 松沢 稔  |
| 加瀬 武  | 高野 朝一 |
| 椎名 三良 | 大木 好雄 |
| 向後 寛  | 鈴木 通司 |
| 椎名 庸  | 椎名善治郎 |
| 山 直仁  | 鈴木 克己 |
| 馬場 三郎 | 宇井 照  |

後列右から

第二次大戦の敗色濃くなりつつあった昭和十九年四月、千葉県立匝瑳中学校に入學。勉学よりも軍事教練や勤労動員中心の一〜二年生時代。二年生の八月終戦。教室に戻ったものの、軍国主義が

ら民主主義の教育へと急変、更に教育制度の大幅な改革によって旧制匝瑳中学校で卒業する者(中22回)と新制匝瑳高校で卒業する者(高2回)とに別れてしま...、同期会の名称も卒業年度ではなく、入学年度の昭和十九(一九)年度の「一九」を取り入れて「匝陵一九会」と称してあります。この激動の四ヶ年〜六ヶ年の青春時代を西ヶ

城で共に過ごし、終戦後の苦しい時代から豊かな時代へと日本の復興を支え活躍した仲間も喜寿を迎える齢になり、五月二十四日お祝いの同期会を八日市場で開催した。

記念撮影に始まり、松沢稔氏の進行で物故者の冥福を祈り黙祷を捧げる。約四分の一強(28%)の学友が昇天されていることを考えると、健康で今日の会に参加できた幸を感じる。

会は、伊東(加瀬)万司幹事長の喜寿を祝う挨拶と、各方面で活躍されその功績が認められて叙勲された学友、飯島重雄氏・大川馨氏・古谷(滝田)和弥氏・角田夏苗氏・伊藤秀二氏の紹介と祝辞があり、当日出席された大川馨氏(他の四名は都合がつかず欠席)から全国塗料協同組合理事長としての活動報告を頂く。続いて次期幹事長に鈴木通司氏を選任し開会行事を終える。

岩(宇井)昭氏の発声で乾杯祝宴に入る。参加人数は前回に比べると少し減ったが、久しぶりに逢った学友同志が在校時代の思い出や健康に関する情報交換、参加でき

なかつた学友の情報や近況報告等話に花が咲き、又、石田實氏のすばらしい朗詠なども披露され、またたく間に閉会予定時刻を過ぎてしまい、四時近くに再び岩 昭氏の指揮で、「ここ東海」を三番まで元気に合唱し、別れを惜しみつつ喜寿祝の饅頭の入った袋をぶら下げて二年後の再会を約し家路につきました。

次回の同期会は二年後に同じ会場で開催予定ですので是非多数ご参加下さるようお願いいたします。

### 高校10回同期会

五月十一日(日曜日)犬吠埼京成ホテルで、高校10回卒の泊まりこみ学年同窓会が開かれた。10回卒とは昭和三十年入学、三十三年卒業組で、大勢は今年69歳を迎えることから古希同窓会と銘づつた。菅谷稔会長は、式次第は今日はない、誰も祝ってくれないので、同級生が仲間同士で盛大に盛り上がりたいたいと漫談調で憎まれ口を利いた。

唯一の式次第、物故者7名に黙祷をささげたあと、はるばる山口県から馳せ参じてくれた伊藤信夫君の乾杯の音頭

を合図に、出席者69人の互いの自分を祝う会がたつぷり時間をとって始まった。

同期の卒業生323名のうち鬼籍の人が24名。「人生七十古来稀なり」は死語になった。だから菅谷君が言う通り、誰も祝いごとなど言ってくれないのが道理である。

その晩はホテルに泊まって翌日はゴルフに行ったのが五組20人。そのほか痛飲を反省した人、しない人も再来年の再会を約束して、少し肌寒い薫風にふかれて銚子を後にした。

式次第を構えないのがスマートで好感をもてた。私が体験しているいくつかの外資系企業のパーティは、その本来の営業的な欲を抑制してまでご挨拶の類の式次第がない、あえて構えないでコミュニケーションを大事にしていた。

### 成毛組クラス会

今年の成毛クラス会は、十月二日から三日にかけて、国民宿舎、サンライズ九十九里で行われました。昭和三十三年三月に卒業してからちょうど五十年という大きな節目に当たりますが、担任の恩師成

毛光之先生のご臨席もいただき、クラスの約6割にあたる26名が参加しました。首都圏在住者のみならず、札幌や松本という遠方からも駆けつけてもらい、盛大に会を催すことができました。

撮影 平山 豪



や水泳合宿訓練に触れられて貝を集め始めたきっかけ等についてお話になりました。勝浦市興津小学校での水泳合宿訓練で生徒に生貝の名前を聞かれたが即答できず、帰宅して調べてみると「ハツユキダカラ」であったとのエピソードを披露され、その時質問した生徒である作佐部和治君に先生から手渡しでその著書を贈呈されるという場面もありました。先生が貝を収集し、研究を始めるきっかけとなつたのが、我々のクラス担任をされていた時でありかつそのきっかけの一つとなる質問をしたのもわがクラスの間であったことを知り、非常に感慨深いものがありました。

昭和四十三年に先生が匠瑳高校の研究集録S.O.M.(第一号)に「千葉県の貝」として初めて寄稿された当時は49種であったものが、その後採集・研究を継続されて、平成十七年五月には868種までになったというのであります。先生の今後における益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。なお、

成毛先生は、会冒頭のご挨拶の中でご自身の著作「千葉県の貝」について紹介され、我々の担任をされておられた昭和三十三年当時の修学旅行



# 第12回回瑳中・高校ゴルフ大会

先生が持参された著作「千葉県の貝」の残り八部については、公平を期して、くじ引きにより配分いたしました。また、その席上、先生には今後とも我々のクラス会には健康の許す限り、毎年出席していただくことを約束していただきました。

懇親会は二時間半に及び、飲みかつ食べ、和気藹々と話も尽きませんでした。時間的制約もあり、記念撮影後、

散会となりました。その後、場所を変えて二次会に移り、当時の思い出話やそれぞれの近況等について大いに語り明かしました。翌日はガラス工房の見学やぶどう狩りを存分に楽しみ、昼食後来年の再会を約束して、解散となりました。大変楽しくかつ有意義なクラス会であり、来年のクラス会を今から楽しみにしています。

大木 優（高10）

平成20年5月23日（金）同窓会ゴルフ大会が銚子レインボーヒルズCCに於いて盛大に開催されました。参加者として幹事である15回卒の皆さんの祈りが通じたのか、当日は快晴微風。絶好のコンディションで行われました。170名を越す多数の皆様が参加して頂き、事故もトラブルもなく全員がホールアウトした時は幹事としてホッと胸をなでおろしました。

賞品等を頂戴し、重ねて御礼申し上げます。そして、参加者全員のご厚意により母校に金17万円の助成金を贈呈することが出来ました。今回は27ホールを使用したため、昼食時間もゆつくりととれ、プレーもスムーズに進み、スタートが8時にもかかわらず、3・30には全員がホールアウトし、すべて順調に運営されたと思います。そのためか好スコアが続出し、総合優勝は鈴木善材さん（高12）、ベストグロスは加瀬健一郎さん（高16）でした。

また、参加者173名中グロスで100を切った方が127名というハイレベルな大会となりました。懇親会では各パーティごとと同じテーブルに座り、いわゆる指定席にしたため、飲食もゆつくりとし、旧交を暖められたかなと思います。

今回の参加者は女子9名、グランドシニア（70才以上）30名、合計173名という多数の出席をいただいたのですが、江畑委員長の講評で「ゴルフ

場を貸し切って、十数年もコンペを開催している高校は全国でも見当たらない」との言葉通り、皆様の母校を思う心、強い友情で結ばれた回瑳高校同窓会がますます発展されます様、お祈り申し上げます。体育部長 鶴野航三（高15）



グランドシニア優勝 江畑 魁（高2）  
女性の部優勝 鶴野和江（高18）  
総合優勝 鈴木善材（高12）

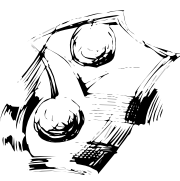
## 成績（敬称略）

- ネットの部
  - 優勝 鈴木 善材（高12）
  - 準優勝 早川 達也（高30）
  - 第三位 高橋 輝行（高15）
- 女性の部
  - 優勝 鶴野 和江（高18）
  - 準優勝 羽田以久美（高14）
  - 第三位 藤田 洋子（高13）

## 林 初男先生の卒寿を祝う会

林先生は、昭和十九年から昭和五十五年まで回瑳高校に勤務されました。この間、昭和二十七年より学校体育教科に日本古来の武道が認可されるや弓道部の創設と指導にあたり、千葉県高体連ならびに関東高体連の弓道専門部設置委員長を務め、更には

全国高体連弓道専門部副部長を十五年間務められました。また、全日本教職員弓道連盟を結成され副会長に就任し、高校弓道の普及・発展にご尽力されました。その他、千葉県弓道連盟会長を歴任し、現在も名誉会長や顧問など多岐にわたりご活躍中です。





さて、弓道部OBによる「匠弓有志会」が平成十五年に発足しました。昨年、会からの思いがけないお誘いは、還暦以上の人が有資格ということ、定年退職した私にもめでたく届き、同期の女性三人と参加しました。お会いしたことの無い大先輩達が林先生と共に匠高弓道部を創設された苦労話を伺い、後輩の私達が青春の日々弓道に熱中できたことに、改めて感謝致しました。

今年（平成二十二年）千葉国体の弓道会場は匠磋高校です。多くの方が母校に足を運ばれ、林先生のご活躍する姿から元気をいただきましたよ。

藤島 愛子（高17）



寿のお祝いの会を持ちました。マイクロバスにて八日市場から出発。幹事の濱本さんが皆に作ってくれた二段重ねのお弁当は、宿のどんな御馳走よりも美味しかったです。林先生を囲み6回生から17回生20名の宴会では、参加者全員がお祝いの言葉や思い出話を語りました。匠高で林先生と弓道に出会い、仲間と共に目的や時間を共有できた喜びや感謝の気持ちと言葉の端々から感じられました。サービスピ精神旺盛な先輩の日本髪和服姿やメイド姿のコスプレパフォーマンスには驚きと笑いで宴も盛り上がりました。カラオケでは林先生の張りのある歌声を沢山聞かせていただきました。

## 在校生の活躍

### インターハイ出場 ソフトテニス

篠・並木組

私は六月七・八日に行われた千葉県総体男子ソフトテニス個人戦で、ベスト8（第5位）に入賞し、八月に埼玉県川口市で開催されたインターハイに出場することができました。

インターハイでは思うような結果を残すことができませんでした。ここまで来れたのは、顧問の先生方や、共に



今年の六月に行われた県総体、僕達三年生にとつてはインターハイに出場するための最後の大会でした。その大会で僕達は優勝し、長年の目標であったインターハイ出場を決めたのです。男子団体が出場するのは七年ぶり十五回目のことでした。

三年生男子は他の学校の部員と比べて人数が少なく五人しかいませんでした。人数が少ない分チームの団結力はとても強く、一人一人が自分の目標を明確にし達成するため毎日練習を積み重ねてきました。後輩もしっかりと僕達の練習についてきてくれたのでチームの力はとても強くなっていました。

ですが、他校の選手達も皆この大会の出場を目標とし、日々努力をし続けてきたことと思います。そのライバル達の悔しさや、毎日日本に熱心に指導して下さった顧問の渋谷先生の力や、いつも支えてくれた家族の応援など、その全ての思いがあるからこそ、僕達は最高の試合ができるのだとあらためて実感しました。

僕が、この弓道という競技を通して学んだことは、本当に数多くあります。その一つが自分を成長させてくれました。ここまで来るための道のりは決して楽なものではなく、壁にぶつかるとの連続でした。ですが、自分を成長させることができたので最後は笑って終えることができましたのだと思います。

弓道競技通して出会った全ての人々に心から感謝したいです。

林 正樹

## 本館4階 匠高ギャラリー収蔵作品一覧表

2008年9月現在

|    | 作 品 名         | 技 法            | 作 者 名   | 卒業回  | 備 考                                  |
|----|---------------|----------------|---------|------|--------------------------------------|
| 1  | 謁 香 取 神 宮     | 書・掛軸           | 徳堂・山崎茂雄 | 中3回  | 1991年没(故人)                           |
| 2  | 京 の 映 像       | 写真・パネル         | 深 田 登美雄 | 中2回  | (故人)                                 |
| 3  | T i m e s     | イラストレーション      | 中 条 正 義 | 高4回  |                                      |
| 4  | K I M O N O   | デッサン           | 石 毛 正 一 | 中14回 | スカンジナビア航空スチュワーデス用着物<br>デザインコンクール1位作品 |
| 5  | 練 り 上 げ 壺     | 陶 芸            | 加 瀬 達 郎 | 高20回 |                                      |
| 6  | 練 り 上 げ 鉢     | 陶 芸            | 加 瀬 達 郎 | 高20回 |                                      |
| 7  | 傭 ( よ う )     | 日本画            | 鎌 形 規 男 | 高20回 | F 30                                 |
| 8  | 漁夫・遣された人(川口)  | 水 彩            | 渡 辺 學   | 中5回  | F 8 (故人)                             |
| 9  | 白涛図(波切の岬)     | 日本画            | 渡 辺 學   | 中5回  | P 8 (故人)                             |
| 10 | 装 幀 画         | 詩集表紙           | 渡 辺 學   | 中5回  | (中6回卒)天野正男詩集表紙(故人)                   |
| 11 | 山 の あ る 街     | 油 彩            | 樽 松 正 利 | 中6回  | F 120 第14回日展作品(故人)                   |
| 12 | 郊外の家(パリ)      | 油 彩            | 氏 家 次 郎 | 旧職員  | M 50 昭和3~35年 美術教師(故人)                |
| 13 | ノートルダム寺院      | 油 彩            | 氏 家 次 郎 | 旧職員  | F 20 正面玄関に展示中                        |
| 14 | 犬 吠           | 油 彩            | 氏 家 次 郎 | 旧職員  | F 10                                 |
| 15 | 冬の落花生畑        | 油 彩            | 鈴 木 武   | 中5回  | F 20 (故人)                            |
| 16 | 雪 の 木 立       | 油 彩            | 鎌 形 照 夫 | 高9回  | F 12 (故人)                            |
| 17 | 海 辺           | 油 彩            | 林 東 州   | 中12回 | F 8 (故人)                             |
| 18 | 自 画 像         | 鉛筆デッサン         | 鎌 形 彬 夫 | 高4回  | 1954年 東京芸大在学中没                       |
| 19 | 同級生鶴野君の像      | 油 彩            | 鎌 形 彬 夫 | 高4回  | 鶴野 泰右氏 蔵                             |
| 20 | 武蔵野美短大卒業制作    | グラフィック<br>デザイン | 山 本 薫   | 高21回 | 現姓・村田                                |
| 21 | 浜 辺           | 油 彩            | 伊 藤 聡   | 旧職員  | F 20 昭和38~43美術教師<br>正面玄関展示中          |
| 22 | コ ー ヒ ー カ ッ プ | 陶 芸            | 林 征 明   | 旧職員  | 美術教師(故人)                             |



## 西城館 1階 閲覧室 70周年記念作品

2008年9月現在

|    | 作品名             | 技法  | 作者名   | 卒業回  | 備考   |
|----|-----------------|-----|-------|------|--|
| 1  | 灯台              | 油彩  | 氏家次郎  | 旧職員  | 昭和3年～35年 美術教師(故人)                                |
| 2  | 灯台のある風景         | 油彩  | 氏家次郎  |      |  |
| 3  | M子              | 油彩  | 氏家次郎  |      |  |
| 4  | 青嵐              | 油彩  | 林秀    | 中14回 | 新槐樹社委員   |
| 5  | 建物              | 油彩  | 林徳司   | 高6回  | 新槐樹社委員(故人)                                       |
| 6  | トレドの裏通り         | 油彩  | 菊間浩亮  | 高8回  | 新槐樹社委員   |
| 7  | こまったな           | 彫塑  | 綿貫ひろ子 | 高8回  | 千葉県美術会会員・新槐樹社委員<br>彫刻グループ「いてい」会員                 |
| 8  | 夏の思い出の地         | 油彩  | 石川幸永  | 高8回  | 八千代市芸術文化協会会員                                     |
| 9  | ゆり              | 日本画 | 和田倫子  | 高15回 | 女子美術短大造形科卒<br>日本南画院同人                            |
| 10 | 唐草の服 1          | 日本画 | 和田倫子  | 高15回 | 日本自由画壇理事   |
| 11 | 感動と出会い<br>そして飛翔 | 木版画 | 土屋金司  | 高25回 | 千葉テレビ放送昔話シリーズ<br>旭市文化振興審議委員・東総文化<br>会館大ホール緞帳原画制作 |
| 12 | 彫刻作品カタログ参加      | 写真  | 伊東敏光  | 高30回 | 東京芸大大学院美術研究科卒<br>福島市立大芸術学部美術助手                   |
| 13 | かなの部            | 書・額 | 土屋寿   | 高1回  | 日本書道美術館参与  |

備考欄は、70周年記念当時の肩書です。



校史 探訪

校訓について

至誠は道德の根本也 思ふ所行ふ所相一致して苟も表裏なし 敬虔眞摯正を慕ひ善を求めて須臾も懈怠せず 忠實熱心事に當つては自己の最善を竭し終始一貫公明正大俯仰天地に愧づるなし 至誠の人にして始めて能く高尚偉大な人格者たることを得べし

剛健は男子の本領也 鞏固なる意志を以て心身を鍛練し勇敢堅忍常に誘惑に克ち艱難に抗し勇往邁進奮闘努力飽くまで其志す所を貫かずんば止まず 剛健の人にして始めて能く天下有用の材たるを得べし

快活は青年の特色也 無邪気にして而も禮儀を失はず活潑にして而も粗暴に流れず心身爽快善く遊び善く学ぶ天真以て己れを持し 淡泊以て人に交り 常に事物の光明を觀て前途に希望を抱く 快活の人にして始めて能く命に安んじ天を樂むの境地に達するを得べし

これは草野金松初代校長の

眞筆より、そのまま書き写したものです。

この校訓は草野先生の提唱により、初代教頭の葛巻孝行先生(英語)により文章化されたように聞いている。

実に名文であります。元より内容は草野校長の強い意志の反映かと思われるが、英語の先生にしてこの力強い内容はどうでしょう。恐らく明治後期に学校教育を受けられた先生の豊かな教養、漢学の素養などが加わり、特に孟子からの引用が多く見られ雄渾な文章となつていゝと思われ

る。 下つて昭和二十二年、米國教育使節團の勧告を受け、学制改革が行われ、従来の義務制の小学校から中学五年、高校三年、大学三年の制度から六三制が施行され、新制の中学が発足し、その第一回卒業生が高校に入り卒業したのが、今の高校五回生である。その年第七代校長として赴任して来られた萩尾淳之助先

生は、今や男女共学制も定着した今日、男子は剛健だけでは女子の立場もなかるうといふので、女子は高雅に、を唱え始めた。但しこの言葉は職員会議にはかり論議されたこともなく校長の独りよがりの感もあつた。然し校長はこの言葉に執心し、書道の山崎徳堂氏(本名茂雄、中3)に命じて高雅の横額を作り校長室に掲げた。萩尾先生のお気に入りの高雅ではあつたが、私はこの二字を校訓として呼ぶことは認めない立場である。

第一に至誠は道德の根本なりに始まる本文がないからである。そのことをある時校長室で話したところ、それなら君がその本文を作れと言われたが、いくら考えても従来の校訓のような力強く理の通つた文章は思い浮かばなかつた。

私は今日まで高雅を校訓の一つとしてあげることを頑固に認めない立場をとつてゐるわけである。

今日ここに、草野先生の眞筆を最初に掲げましたが、草書体でまことに読みにくく、送りがなも偏体假名であるため、今日の人には全く読みにくいに違いない。断定のなりは当時の習慣のままに也と漢字である。句読点もないので私は適当に一字あけて示した。

また至誠 剛健 快活の三句は草野先生の草書体の達筆で書かれたものが、剣道場に掲げられていたが、昭和二十九年三月九日未明の火災により道場と共に焼失してしまつた。

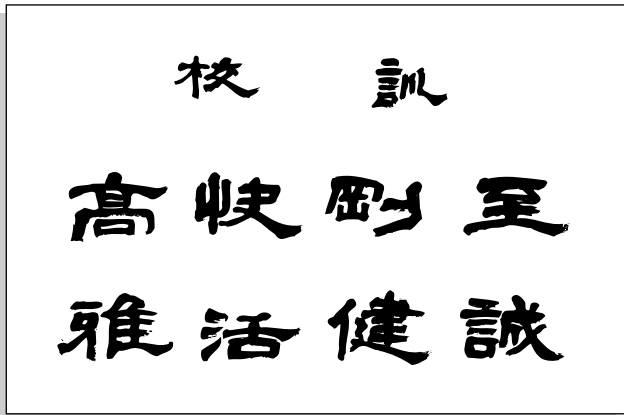
また、いま玄関に掲げられている文部大臣鳩山一郎先生の剛健は、もと控室に掲げられていたものである。どのような経緯で文部大臣の筆蹟を頂戴したものかは全くわからない。以上何かの参考になればと思ひ記した。

品村 晃祥(中14)

備考

昭和30年頃からの多くの卒業生は高雅を校訓の一つとして認める立場が、ほぼ定着していると思われる。従つて、私の文章を読んだ人の多くはおかしな話だと思われに違いない。この点を私は心配するものである。

ただひとつ私がこだわるのは、高雅は だ、と続く本文のない点を気にしているわけである。誤解のないようにお願いしたい。



七十周年記念誌より

HP運営委員会日より

# 『**匠瑛高校同窓会** **検索**』のホームページ(HP)ご存知 ですか? (<http://www.dosokai.ne.jp/sosako/>)

昨年度『匠瑛高校同窓会』のホームページが開設されました。  
ホームページの内容は【同窓会コーナー】として

- 活躍中の同窓生：母校を卒業して各分野でご活躍している方々の紹介
- 同窓生のホームページ：会員の方々の個人のホームページの紹介
- 同窓生のお店：会員の方々の自営、経営されている会社、店舗等のホームページの紹介
- 同期会のご案内：同期会、クラス会、クラブOB会の開催案内
- 同期会報告：同期会、クラス会、クラブOB会の報告
- 部活動のページ：クラブの活動を紹介
- 恩師は今...：先生方のご在職当時の思い出や、現在の様子の紹介
- 交流のひろば：同窓生の方々の交流の場として設けられたものです。各種グループ、同好会、集まりのご案内、自己紹介等自由に書き込みできるページです。

以上8項目が現在設けてありますが、生まれたばかりで不十分な箇所種々あると思います。  
より良いHPを目指して会員みなさんと共に大切に育てていきたいと思ひます。お互いの情報交換の場として、みんなでどんどん大いに利用しましょう。

また、このHPの運営、管理経費として「パナー広告掲載」のご協力をお願いしております。  
どうかこの件もよろしくお願ひいたします。

HP運営委員会

## 岡田長司先生の思い出

岡田先生は昭和二十八年、  
京都大学を卒業して、国語科  
教員として着任された。  
昭和三十一年、東京都内の  
高校に移るまで、高校十回生  
の担任をされるなど、ユニークな存在であった。

つとに酒好きで有名であったが、聞くところによると、福井県内の造り酒屋の生まれであったよし、生まれながらに酒浸りであったのかも知れないと推察している。私が放課後の陸上部の練習を共にし



お申込み及びお問い合わせは  
千葉県匠瑛市八日市場イ1630  
「匠瑛高校同窓会事務局」  
TEL：0479-72-1541  
FAX：0479-73-6146

# お悔やみ申し上げます

(平成20年9月13日まで)

## 〈恩師逝く〉

岡田 長司先生(国語)  
 平成20年1月21日逝去  
 昭和28年31年 在職  
 北区豊島  
 五六一一三三

## 〈会員訃報〉

宇井 正三さん(中4)  
 平成20年3月24日逝去  
 安達郡白沢村白岩字大岩  
 一三三三

宇野澤勝民さん(中5)  
 平成20年5月6日逝去  
 銚子市垣根町一―二六四

樽松 正利さん(中6)  
 平成20年4月4日逝去  
 豊島区長崎二―二五―七

鈴木喜四郎さん(中10)  
 平成20年5月11日逝去  
 市川市南八幡五―七―五

清水 邦彦さん(中12)  
 平成20年7月30日逝去  
 相模原市相模大野

石毛 良さん(中15)  
 平成13年6月30日逝去  
 茂原市茂原一五一

向後正一郎さん(中15)  
 平成20年7月4日逝去  
 八千代台東四―二―二七

行木美能里さん(中16)  
 平成20年6月1日逝去  
 匝瑳市木積一―二―七

伊藤 和雄さん(中16)  
 平成20年8月12日逝去  
 船橋市藤原三―二―二四

那須 豊さん(中17)  
 平成20年7月3日逝去  
 多古町南玉造二六

大木 勲徳さん(中17)  
 平成20年4月28日逝去  
 匝瑳市八日市場  
 一―一八九―二

林 和さん(中18)  
 平成18年7月11日逝去  
 匝瑳市上谷中―二―五三

加瀬 正男さん(中18)  
 平成19年12月1日逝去  
 銚子市本城町三―七―一

岩崎 治さん(中18)  
 平成20年6月9日逝去  
 船橋市本町五―一―七―二

宇井野広和さん(中18)  
 平成20年4月1日逝去  
 匝瑳市川辺七九七七

小林 敏夫さん(中22)  
 平成20年1月 逝去  
 匝瑳市椿一七〇四―七

伊橋 忠さん(中22)  
 平成19年9月27日逝去  
 多古町間倉三九二

山 四郎兵衛さん(中22)  
 平成20年1月11日逝去  
 匝瑳市中台四三〇

渡辺 脩さん(中22)  
 平成20年6月10日逝去  
 匝瑳市今泉五九七七

有田 哲さん(併設中2)  
 平成20年3月3日逝去  
 匝瑳市椿一六六五―一

鈴木昭太郎さん(併設中2)  
 平成20年8月16日逝去  
 横芝光町小川台一〇七五

佐藤 光治さん(高2)  
 平成19年8月16日逝去  
 流山市江戸川台東  
 三―一三三三

市原 利夫さん(高2)  
 平成19年6月 逝去  
 渋谷区恵比寿南  
 三―一九―三三

椎名 慶夫さん(高2)  
 平成20年8月12日逝去  
 匝瑳市入山 五二二

遠藤 英夫さん(高3)  
 平成17年8月28日逝去  
 足利市助戸仲町四九二―一

椎名 隆さん(高3)  
 平成19年10月31日逝去  
 西東京市ひばりが丘三―一―五

パークヒルズ六―一―〇四

瓜生 義孝さん(高3)  
 平成20年6月19日逝去  
 多古町喜多―一―四二

川島 巖さん(高4)  
 平成20年5月6日逝去  
 匝瑳市飯倉一四一八

高木 操さん(高4)  
 平成20年3月29日逝去  
 香取市佐原イ―六七九

石毛 孝さん(高4)  
 平成17年7月 逝去  
 若葉区貝塚町二―二六三―四

飯倉 清種さん(高6)  
 平成20年5月28日逝去  
 富津市青木一五九九

小川 彰さん(高8)  
 平成20年1月 逝去  
 匝瑳市今泉六三三三

大木 衛さん(高8)  
 平成20年2月 逝去  
 横芝光町栗山  
 二―六三―三八

伊藤 優さん(高8)  
 平成20年6月 逝去  
 匝瑳市椿一六七三

て、夕刻の汽車で帰るころには、八重垣神社前の屋台でいつも酒を飲んでた。それもすぐ近くの銭湯帰りのタオルを片手にしていた。

生徒らが停止敬礼の挨拶をするのを迷惑そうにチビリチビリやっていた姿が懐かしく思い出される。

国語科や職員の懇親会などでも全く無口で黙々と酒をたしなんでいた。職員室でもお互いに話し合うことはなかった。

ただ話しかけると、なかなか深い学識の持ち主で、近世文学に明るく、西鶴のこともど聞くと泉の如く話題が豊富で驚いたものだ。

惜しむべき人を失いまことに残念だ。謹んでお悔やみ申しあげ、ご冥福をお祈りします。

品村 晃祥(中14)

小川 愛子さん(高8)  
 平成20年4月5日逝去  
 府中市武蔵台  
 二―三三―二二

宇井 健さん(高26)  
 平成20年5月8日逝去  
 匝瑳市平木二二九八

終身会費納入者

平成二十年四月一日から、九月十日受付まで。

|        |       |         |       |
|--------|-------|---------|-------|
| (中十八回) | 高木 洋子 | (高二十一回) | 品 勝平  |
| (高四回)  | 石毛恒三郎 | (高二十二回) | 宮内千枝子 |
| (高四回)  | 宇井 正和 | (高二十三回) | 白木 幸子 |
| (高四回)  | 鎌形 智淳 | (高二十四回) | 伊藤 茂  |
| (定昼一回) | 岩井 寿勝 | (高四十五回) | 鷺山 良子 |
| (定昼一回) | 齋木 雅夫 | (高四十四回) | 大根 いえ |
| (定昼一回) | 椎名 肇  | (高二十四回) | 伊藤 友子 |
| (定昼一回) | 宮内 睦夫 | (高二十六回) | 宮本 明  |
| (高七回)  | 石井 和美 | (高二十六回) | 小川 俊恵 |
| (高七回)  | 加藤 義一 | (高二十七回) | 寺嶋 清一 |
| (定昼三回) | 佐瀬 悌弘 | (高二十七回) | 宇野佐太夫 |
| (定夜一回) | 篠塚 せつ | (高二十八回) | 坂井三恵子 |
| (高八回)  | 海老原礼子 | (高二十九回) | 山田 正子 |
| (高九回)  | 清水 陽子 | (高二十九回) | 林 樹哉  |
| (高十回)  | 上代八千代 | (高三十一回) | 今泉 厚子 |
| (高十回)  | 松井 博  | (高三十一回) | 鈴木 智江 |
| (高十回)  | 吉田 滋俊 | (高三十二回) | 内藤 直子 |
| (高十回)  | 齋藤 好  | (高三十二回) | 小川 文彦 |
| (高十回)  | 桜井 茂知 | (高三十五回) | 高根 浩司 |
| (高十回)  | 佐藤 勝広 | (高三十八回) | 小海 正康 |
| (高十回)  | 平山 光秀 | (高三十九回) | 霜恒 謙一 |
| (高十一回) | 徳元 昭夫 | (高四十一回) | 加瀬 一彦 |
| (高十一回) | 阿部弥栄子 | (高四十二回) |       |
| (高十一回) | 数崎 真昭 |         |       |
| (高十一回) | 越川 允  |         |       |

年会費納入者

平成二十年四月一日から、九月十日受付まで。名前の下の数字は納入していただいた年数を示します。

|       |         |       |         |
|-------|---------|-------|---------|
| (高四回) | 鈴木 英和   | (高四回) | 飯笹 忠5   |
| (高四回) | 戸村 正樹   | (高四回) | 宇野 操5   |
| (高四回) | 川口 晃司   | (高四回) | 高埜 隆5   |
| (高四回) | 金杉のぞみ   | (高四回) | 土屋 澄5   |
| (高四回) | 菅澤 裕美   | (高四回) | 並木 良雄2  |
| (高四回) | 小沼 康規   | (高四回) | 内山 馨11  |
| (高四回) | 小沼 高    | (高四回) | 実川 香10  |
| (高四回) | 菅澤 由記江  | (高四回) | 林 清5    |
| (高四回) | 重山知恵子   | (高四回) | 石井忠四郎5  |
| (高四回) | 田村 文    | (高四回) | 八本 輝2   |
| (高四回) | 伊藤 幸寛   | (高四回) | 木村 良雄1  |
| (高四回) | 大木 喜貴   | (高四回) | 境 喜美江10 |
| (高四回) | 菅澤 麻里   | (高四回) | 大木 光子10 |
| (高四回) | 武田 梢    | (高四回) | 沢田 壽子5  |
| (高四回) | 冬木 美帆   | (高四回) |         |
| (高四回) | 宮野 雄輔   | (高四回) |         |
| (高四回) | 鈴木 敬三10 | (高四回) |         |
| (高四回) | 越川 賢吉3  | (高四回) |         |
| (高四回) | 布施 覚3   | (高四回) |         |
| (高四回) | 飯笹 忠5   | (高四回) |         |
| (高四回) | 宇野 操5   | (高四回) |         |
| (高四回) | 高埜 隆5   | (高四回) |         |
| (高四回) | 土屋 澄5   | (高四回) |         |
| (高四回) | 並木 良雄2  | (高四回) |         |
| (高四回) | 内山 馨11  | (高四回) |         |
| (高四回) | 実川 香10  | (高四回) |         |
| (高四回) | 林 清5    | (高四回) |         |
| (高四回) | 石井忠四郎5  | (高四回) |         |
| (高四回) | 八本 輝2   | (高四回) |         |
| (高四回) | 木村 良雄1  | (高四回) |         |
| (高四回) | 境 喜美江10 | (高四回) |         |
| (高四回) | 大木 光子10 | (高四回) |         |
| (高四回) | 沢田 壽子5  | (高四回) |         |

編集後記

自分のノートパソコンもやっ  
とインターネットが繋がった  
ので、早速、同窓会のホームペ  
ージをのぞいてみた。同窓会事  
務局の校歌をクリックしたら、  
混声合唱の校歌が流れてきた。  
旧制中学の校歌も二番まで男声  
合唱で聴くことができた。同窓  
会のコーナーのますますの充実  
を期待したい。

編集委員の米本雅男さん(高  
10)が、全日本教職員パドミン  
トン大会の65歳以上男子ダブル  
スで昨年に続いて優勝し、二連  
覇を達成しました。

第38号編集委員

- 馬淵 英夫(高10)
- 品村 晃祥(中14)
- 平山 武彦(高7)
- 綿貫ひろ子(高8)
- 米本 雅男(高10)
- 富澤 汎子(高11)
- 川口 克己(高15)
- 岩瀬 道治(高24)
- 加瀬 武彦(高16)

加瀬 武彦 (会長/高16)